＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	福岡県型安心と笑顔のあふれる家
グループの名称	福岡県健康住宅促進協議会
直近採択グループ番号	06-0028-0729

（グループ代表者）

代表者名	村上　茂真　代表者印
代表者所属先	株式会社ZOME
代表者所在地	福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号
代表者電話番号	093-618-7688

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社ZOME
事務局担当者名	村上　茂真　印
事務局郵便番号	807-1123
事務局所在地	福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号
事務局電話番号	093-618-7688
事務局FAX	093-618-7687
事務局担当者E-mail	info@zome.biz

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	福岡県型安心と笑顔のあふれる家
２．グループの名称(必須)	福岡県健康住宅促進協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0028-0729
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	福岡県
５．結成年(必須)	2011　年
６．グループ代表者名(必須)	村上　茂真
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社ZOME
８．グループ代表者所在地(必須)	福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号
９．グループ代表者電話番号(必須)	093-618-7688
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社ZOME
１１．グループ事務局担当者名(必須)	村上　茂真
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	807-1123
１３．グループ事務局所在地(必須)	福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	093-618-7688
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	093-618-7687
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@zome.biz

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	3	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	3	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	4	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	2	
Ⅵ．施工	7	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	2	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	4	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		3	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	長期優良住宅、認定低炭素住宅の未経験工務店を優先しつつ、基本、均等割り当て配分とする。尚、経過を考慮し着工優先順で再配分を実施。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	3	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
34	Ⅰ － 7	株式会社 ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
34	Ⅰ － 8	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷３丁目1-1	0823-71-7141
44	Ⅰ － 9	日田市森林組合		877-0076	大分県日田市大字庄手850-5	0973-23-5168
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 7	株式会社 ウッドワン		738-8502	広島県廿日市市木材港南1-1	0829-32-3333
34	Ⅱ － 10	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷３丁目1-1	0823-71-7141
44	Ⅱ － 11	瀬戸製材 株式会社		877-0012	大分県日田市淡窓１丁目4-35	0973-22-5105
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
34	Ⅲ － 10	中国木材　株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷３丁目1-1	0823-71-7141
13	Ⅲ － 12	住友林業フォレストサービス株式会社		160-0023	東京都新宿区西新宿１丁目２３番７号新宿ファーストウエスト5F	03-6911-2681
40	Ⅲ － 13	株式会社　山陽		800-0241	福岡県北九州市小倉南区長野本町2丁目1番1号	093-471-1167
40	Ⅲ － 14	西日本フレーミング株式会社		820-0073	福岡県飯塚市平恒515-49	0948-24-8302
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
40	Ⅳ － 14	西日本フレーミング株式会社		820-0073	福岡県飯塚市平恒515-49	0948-24-8302
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
40	Ｖ － 1	株式会社 ZOME		807-1123	福岡県北九州市八幡西区下畑町１３番７号	093-618-7688	○	
34	Ｖ － 15	株式会社 ウッドワン一級建築士事務所		738-0033	広島県廿日市市串戸1-3-6	0829-32-3335	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							7	○	○
40	Ⅵ - 1	79639	株式会社 ZOME		807-1123	福岡県北九州市八幡西区下畑町13番7号	093-618-7688	○	
40	Ⅵ - 2	79887	松藤工務店		839-0212	福岡県みやま市高田町江浦町542番地	0944-22-2296	○	
40	Ⅵ - 3	79663	株式会社 雅建設		826-0002	福岡県田川郡川崎町池尻476	0947-46-0843	○	
40	Ⅵ - 4	79953	平石建設		825-0004	福岡県田川市夏吉1627－2	0947-45-5479	○	
40	Ⅵ - 5	79850	金子建設		825-0004	福岡県田川市夏吉3226－2	0947-45-5615		○
40	Ⅵ - 6	79958	本田技建		825-0004	福岡県田川市夏吉354－8	0947-46-1975		○
40	Ⅵ - 16	79621	リフォームのかわむら		825-0004	福岡県田川市夏吉1849番地2	0947-50-7770	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
40	Ⅵ－ 1	79639	株式会社 ZOME	13 戸	14 戸	8 戸	7 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	3以下		○	
40	Ⅵ－ 2	79887	松藤工務店	5 戸	5 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
40	Ⅵ－ 3	79663	株式会社 雅建設	10 戸	9 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
40	Ⅵ－ 4	79953	平石建設	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 5	79850	金子建設	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 6	79958	本田技建	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
40	Ⅵ－ 16	79621	リフォームのかわむら	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ－			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡		

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
40	Ⅶ － 17	株式会社 キョーエイ		800-0231	福岡県北九州市小倉南区朽網３９１４番９０	093-474-3388
40	Ⅶ － 18	株式会社 須原建材		806-0049	福岡県北九州市八幡西区穴生３丁目７－２０	093-641-6574
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
40	Ⅷ － 19	株式会社 北部屋根総業		807-0083	福岡県北九州市八幡西区大平３丁目６番１７号	093-611-0978
40	Ⅷ － 20	光洋産業		807-0077	福岡県北九州市八幡西区沖田５丁目２－１５	093-613-8307
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）福岡県型安心と笑顔のあふれる家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）福岡県健康住宅促進協議会	（結成年）2011　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0028-0729	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	①耐震等級2以上を担保した、地震に強い安心な家。（※認定低炭素住宅は耐震等級2以上とする） ②主要構造部の劣化対策必要部位に乾式加圧注入されたAQ認証材（JAS K3相当）を使用した高耐久な家。 ③主要構造材（柱、梁、桁、土台）は地域材及びJAS材を90%使用した家。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・空気環境にこだわった、健康快適な家。 ・耐震性能を考慮し構造躯体の接合部を金物工法とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・夏涼しく、冬暖かい住まいづくりの為に、省エネ等級4を確保しつつ、通風に配慮し居室は2方向開口を確保した家。	○
④ ①～③の背景	・福岡は概して温暖な地域であるといえるが、内陸平野部などは寒暖の差が激しく、梅雨前線や台風の影響を受けやすい地域でもある。また、福岡地域は地震が頻繁に発生する地域ではないが、複数の断層帯があり、2005年には福岡県西方沖地震が玄界灘で発生している。近い将来に発生するであろう南海トラフ震源の地震からの影響が予測されていることもあり、この地域に住む人々の地震に対する関心は増してきている。一方、福岡県をはじめとする九州地方は森林率、人工林率が全国でトップクラスであり資源が豊かな地域でもある。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・健康と住み心地に配慮した、木のインテリア空間（床、建具、キッチン、家具など）を積極的に提案する。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・耐震等級2以上を担保する為に、柱の梁に対する直下率を上げた共通設計ルールをグループで作成する。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・設備、内装建材などの特別価格一覧表を作成し、部材の統一、集中購買によりコストダウンを図る。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・上記の内容に伴い同一仕様書を作成している。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ内で集中購買する為、納材事業者の共同化を行っている。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ内、納材事業者の担当者を専任とし事務の合理化を図る。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ内に技術部会を設置し定例会議を年3回開催し、その技術部会にて設計図書どおりに施工されているかの確認を行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：・邸別の着工、完工スケジュールを把握し全体スケジュールのとりまとめ、構成員に発信する。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：・地盤調査を実施し、地盤調査データに応じた基礎設計を行う。 ・構造躯体等の耐震基準を考慮した接合部の納まり図等チェックリストの作成。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：・長期優良住宅に関わる4つの項目（耐震、劣化対策、維持管理対策、省エネ対策）について、第三者機関の現場検査を受け施工品質担保をより確実なものにする。	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：・標準見積り書を作成し、お客様がわかりやすい書類の整備を行う。 ・設計CADの共通化により積算数量の明確化を行う。	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：・グループ内に総務部を設置し、広報活動や情報の統括、発信を行う。また、お施主様向け相談会も実施する。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある →	内容：・現在各構成員事業所ごとの取組で有るため、各構成員の意見をまとめグループとしての共通ルールを定めて行きたい。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある →	内容：・現在各構成員事業所ごとの取組で有るため、各構成員の意見をまとめグループとしての共通ルールを定めて行きたい。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある →	内容：現在各構成員事業所ごとの加入で有るため。	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	■ ない	□ ある →	内容：・施工事業者の構成員については工程会議や安全会議を行っているが、全構成員を含めたグループとしてのルールは現在は決めていないので今後ルール化していきたい。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・主要構造部及び羽柄材、内装仕上げ材のプレカット比率を向上し、現場施工の効率化を実現し、建築現場での残材・廃棄物軽減を図る。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）福岡県型安心と笑顔のあふれる家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）福岡県健康住宅促進協議会	（結成年）2011　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0028-0729	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	・竣工図、維持管理実施状況を自社保管及びグループ事務局に住宅履歴の蓄積を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：	・グループ事務局は住宅履歴情報の蓄積を第三者情報サービス機関を活用し保管する。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	・インターネット等を通じて各自確認出来る様にする。	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	・長期維持管理計画書に基づき、定期点検チェックリストによる定期点検を施工店が実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	・維持管理計画書及び住宅品質管理マニュアルにより施工店が実施する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	・住まいカルテを作成。お施主さま用と各社用の同じカルテを作成保管する。	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	・住まいの管理ガイドラインと定期点検チェックリストを作成し、グループ内の設計士や外部専門家を招いて勉強会を年３回実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	・各建物完成ごとにお施主様が自ら維持管理出来る様、各業種ごとの専門の担当者による体験説明会を行いお施主様自ら理解出来る様にする。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：	・各建物完成ごとに、お施主様及びOB客へ案内し維持、点検方法等の相談会の実施をする。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：	・維持管理の実施状況を維持管理部会を年３回開催し内容等の確認を行う。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容：	・瑕疵担保責任の10年以後、有償にて5年間の延長を検討しお施主さまに提案する。	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：	・グループ構成員の倒産時には長期維持管理のサポートがグループ内の別の構成員に引き継げる様に対応指針を作成する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：	・グループ構成員の定期研修会等でテーマを決めて勉強会の実施を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			・特になし				

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】							◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：	・グループ内、技術部会において技術力向上の為の研修会を経験工務店、設計士を講師とし施工現場等を用いて年３回の研修会を開催する。	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：	・技術部会により、共通仕様書等の作成を行い品質管理の共通ルールの策定。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：	・グループ事務局内の技術部会による、品質管理の為の現地調査、確認を行う。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：	・構造材、羽柄材のプレカットを積極的に使用し、現場の廃棄物を削減する。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：	・作業効率の向上を目指し、現場の「ムリ、ムダ、ムラ」を削減出来る施工の流れ、ポイントの検討等、又現場視察説明会を定期的に行い技術力向上の為の意見交換会を開催する。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：	・プレカット会社、設計事務所、施工店、職方まで一体となった技術検討会を開催する、又各現場事の工程会議を開催し各業種間の連携を密に行う。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　12		今年度の参加目標人数　3		◎
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　2		◎
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：	・事務局が省エネ講習会開催の日程など、グループへ情報発信する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：	・お施主さまの「健康・快適・安心・安全」に配慮した住宅部材の選定のための意見交換会の実施。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：	・上記の意見交換会による新技術をお施主様に提案し、1棟は建築実例を作る。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			・昨年同様に制振装置を積極的に取り入れより安心、安全な家造りを進める。				○

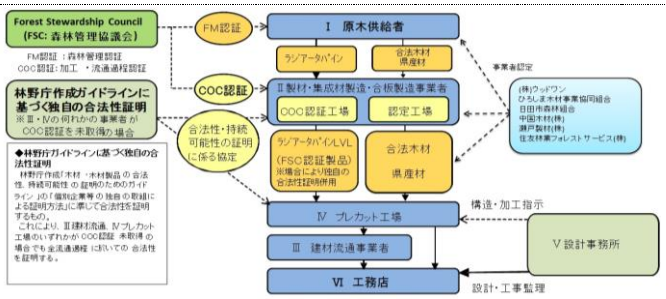
※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）福岡県型安心と笑顔のあふれる家	（地域型住宅供給対象地域）福岡県	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）福岡県健康住宅促進協議会	（結成年）2011 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0028-0729		

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・JAS材90%とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・地域材の供給構成員は、価格状況、在庫状況を事務局に報告し、グループに情報発信する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：・原木供給から流通・プレカットまでの流れを固定し共同購入する事で価格の共有化する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・請負契約の着工情報を事務局でまとめ、グループに情報発信する。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算） 108 枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数： 250 坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算） 36枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算） 36枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・地場産業活性化のために、地域の特産品家具や木工品等を積極的に活用する。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・地域の特性を生かし、町並みに合せた意匠を積極的に提案する。（特に宿場町等）	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・環境、資源に対する意識が高いため、庭に樹木を積極的に提案する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・核家族化が進み家族コミュニケーションを図る設計提案として、対面キッチン、リビング階段を推奨提案する。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・周辺の町並み、景観を敷地環境調査書に記載し、設計提案に活用する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：・洋和室でも床の間、床柱を使用し、現代和風の設計提案の実施をする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・特になし	

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・東北地域の建材、商材を流通業者が中心で模索し、技術部会で提案し採用の活用を検討する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	・東日本大震災と同様に、又供給地域が近い事もあり、商材、流通業者を中心にグループ技術部会で提案し採用の検討をする。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 福岡県型安心と笑顔のあふれる家	（地域型住宅供給対象地域） 福岡県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 福岡県健康住宅促進協議会	（結成年） 2011 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0028-0729	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

・〇認定低炭素住宅
特徴：省エネ配慮の上に、当グループの安心配慮の耐震を考慮する。　・BELS
制度を出来るだけ活用する。
・地震対策を考慮し、耐震等級2以上とする。
・節水型のトイレ設備などを積極的に使用する。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。